

# 事業の趣旨・目的

2019.11.7

# ヘルスケア産業政策の目指すところと重点取組

- 政府は、超高齢社会を迎え構造が変わった社会における社会保障のあり方の検討や、経済再生と財政健全化の好循環を目指すための諸施策を実行中である。
- 経済産業省では、超高齢社会における新たな市場の形成と、生涯現役社会の実現に向けて、ヘルスケア産業政策を進めている。2019年は、過去の調査研究によって明らかにされた、「政策の実現を阻害する課題」を乗り越えるため、健康経営の推進と、ヘルスケア産業の育成の取り組みに重点を置いた対応を行っている。

## 【ヘルスケア産業政策の目指すところ】

## 【4つの壁と政策の方針】

### 新市場の形成

現役世代を引退してなお、一定の社会活動を担う能力と意欲を有した、新たな活動主体の誕生

→社会保障費の見直しを含む、新たな社会経済システムの構築が必要

→ニーズに応える新産業の創出が必要

### 生涯現役社会の実現

健康的な生活を送る事で、正の循環を実現する

- 国民が健康を管理する習慣を持つ
- 健康を維持する事で長年にわたる社会参加を可能にする
- 社会へのかかわりが更なる健康の維持に役立つ

1. 身体の壁  
…現役世代から適切な健康管理が行われていない
2. 価値観の壁  
…リタイア後の生活設計や生き方についての意識が低い
3. 選択肢の壁  
…高齢者に適した柔軟な働き方や利用可能なサービスが少ない
4. 情報の壁  
…自らに適した働き方や良質なサービスにたどり着けない



- 健康経営を推進
- 健康増進や社会参加を支えるヘルスケア産業育成に取り組む

# 本事業とヘルスケア産業政策の関係

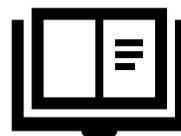
- 「選択肢の壁」と「情報の壁」への対策の一つとして、「ヘルスケアサービスの品質評価と流通構造の構築に向けた環境整備」への取組が行われており、2018年には、「ヘルスケアサービスガイドライン等のあり方」が示された。
- 本事業は、ガイドラインで示されたあり方を踏まえて、業界自主ガイドライン等の策定・改定を行うための経済産業省の補助事業である。経済産業省の補助を受け、エステティック業の中でも特にヘルスケア産業に近く、より高度な対応が求められる「ソシオエステティック」を対象に、ガイドラインを策定するものである。

1. 身体の壁  
…現役世代から適切な健康管理が行われていない
2. 価値観の壁  
…リタイア後の生活設計や生き方についての意識が低い
3. 選択肢の壁  
…高齢者に適した柔軟な働き方や利用可能なサービスが少ない
4. 情報の壁  
…自らに適した働き方や良質なサービスにたどり着けない

「選択肢の壁」と「情報の壁」への対策の一つとして、「ヘルスケアサービスの品質評価と流通構造の構築に向けた環境整備」に取り組む。

〔取組〕

- ・業界や業界横断の自主的なサービス基準の整備の促進
- ・需要者側のニーズと連動した継続的な品質評価を可能とする環境整備
- ・ヘルスケアサービスの流通構造の構築に向けた取組

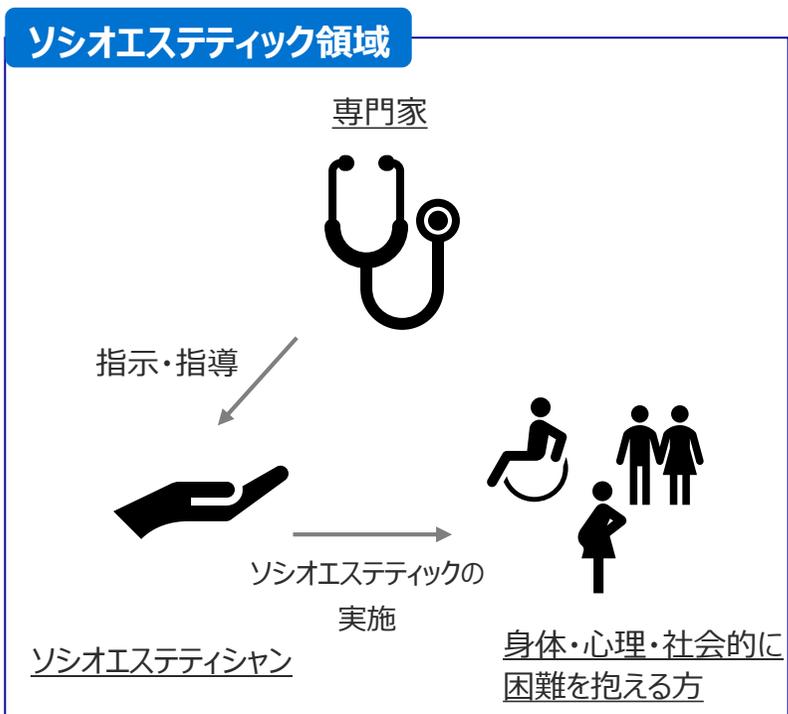


「ヘルスケアサービスガイドライン等のあり方」

- ・ヘルスケアサービスを提供する事業者が属する業界団体が自主的に策定するガイドライン等に対してあり方を示すもの。
- ・業界団体と仲介者との間における望ましい流通構造の構築と、ヘルスケアサービスの品質評価の仕組みの構築を目指す。

# エステティック業界が取り組む意義

- ソシオエステティックは、専門家の指示・指導の下、身体・審理・社会的に困難を抱える方に対して行われるエステティックである。
- 日本は超高齢社会にあり、高齢者や慢性の疾患を抱えたお客様（多様なお客様）が増加している。
- 多様なお客様のQOL向上に向けた民間市場の形成は社会的な要請であり、ソシオエステティックはこのニーズを満たすサービスである。



定義は後ほど検討

目標	目的
<p>身体・心理・社会的に困難を抱える方への対応強化</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• ソシオエステティックの担い手の拡大</li><li>• ソシオエステティックの認知度向上</li><li>• ソシオエステティックを導入する医療機関、介護施設の増加</li></ul>	<p>新たな市場の開拓</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 高齢者、疾患を抱える方、障害者、外国人等の需要を喚起</li><li>• サービスの付加価値を高める</li></ul> <p>業界の健全な発展</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 消費者トラブルの抑止</li><li>• サービス品質の向上</li></ul>

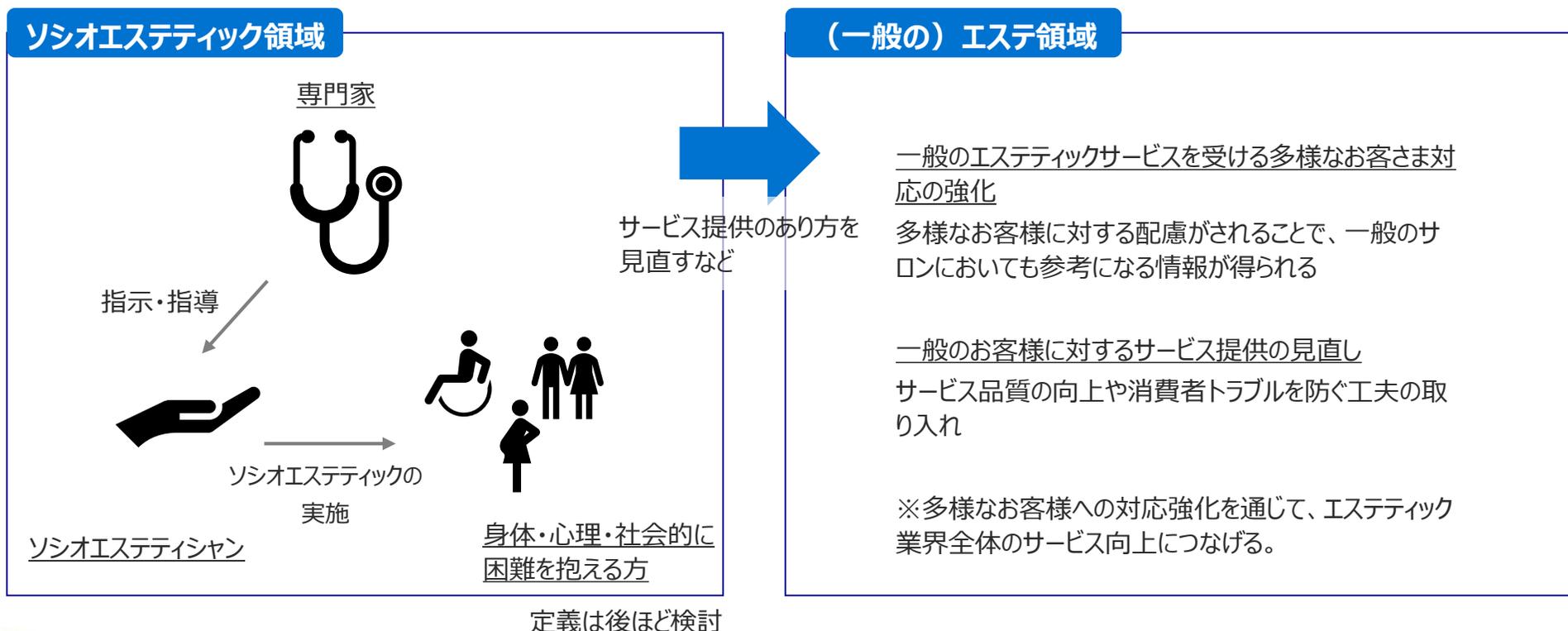
## (参考) ソシオエステティックサービスのニーズ

- 精神的・肉体的・社会的な困難を抱えるお客様（多様なお客様）は、ソシオエステティックサービスがもたらすQOLの向上に対して、潜在的なニーズを有している。
- これらお客様へのサービスを強化する事は、エステティックサービスの市場拡大に寄与する。

多様なお客様	ソシオエステティックサービスに対するニーズ（仮）		今後の見込み
	サービスニーズ	求めるエステティシャン	
高齢者	<ul style="list-style-type: none"> <li>加齢に伴う心身の負担の緩和・軽減</li> <li>代謝を促したり、外形を整える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の心身の変化について理解している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢化社会を迎え、対象者が増加見込み</li> </ul>
疾患を有する方	<ul style="list-style-type: none"> <li>闘病に伴う心身の負担の緩和・軽減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>闘病中であることに対する配慮ができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢化社会、医学の発展に伴い、疾患を抱えながら生活をする方が増加見込み</li> </ul>
外国人	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニケーションのギャップを感じることなく、安心して施術を受ける事が出来る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>言語の違い、文化の違いを理解したうえで、サービス提供を行える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際化やオリンピック・パラリンピックを契機に、日本を訪れる外国人、日本で働く外国人が増加見込み</li> </ul>
障害者	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害を抱えることによって生じる心身の負担の緩和・軽減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害を理解したうえで、サービス提供を行える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パラリンピックをきっかけに、障害をもつ方の活躍の場が広がって、エステティックサービスの需要が広がることや、外国からの障害を持つお客様の受入も広がる見込み</li> </ul>

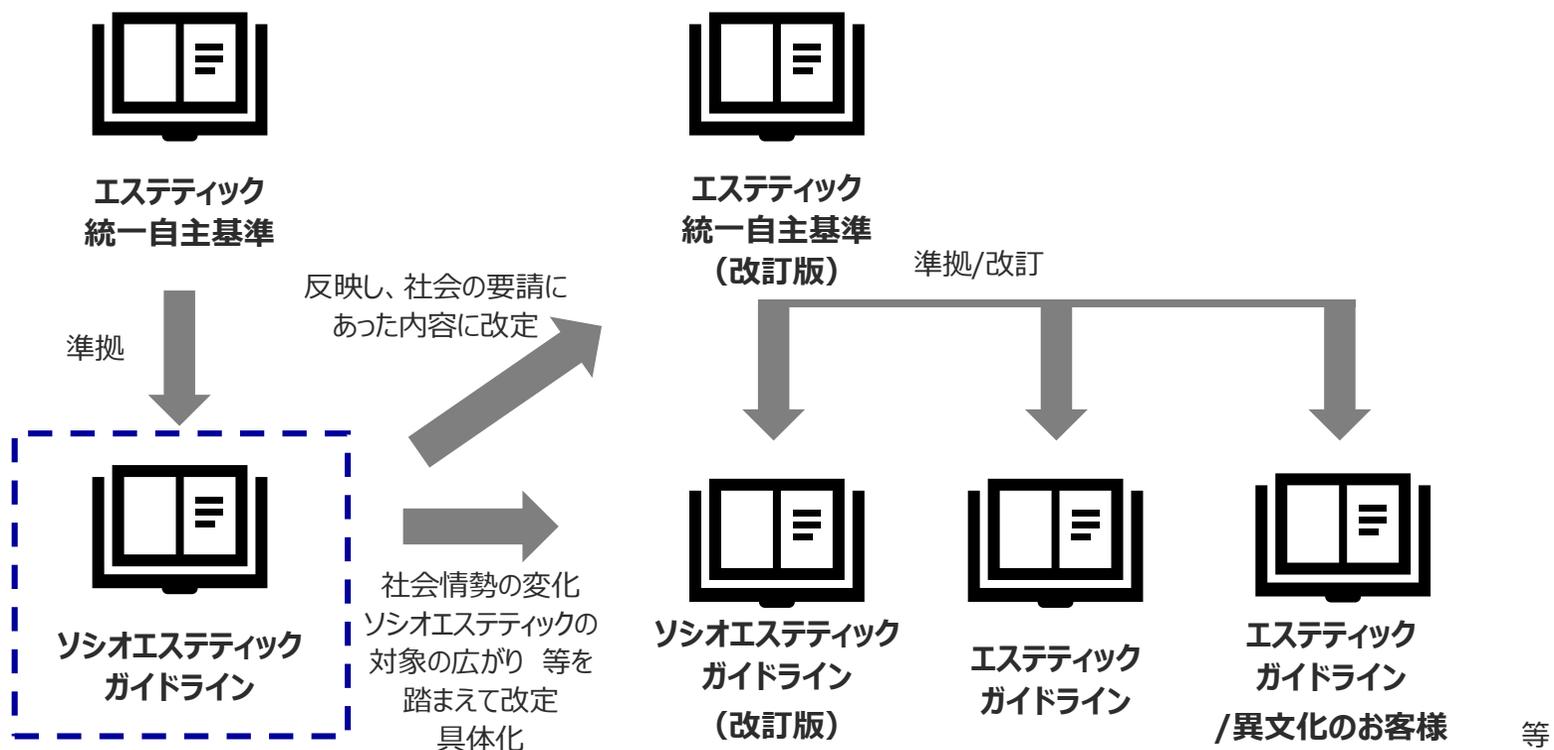
## ソシオエステティックガイドラインを策定する副次的な意義 ～一般消費者向けサービス品質の向上～

- 専門家の指示・指導の下行うお客様対応は一般のお客様対応と異なる高度な専門性が要求される。
- 専門性のほかにも、サービス品質を担保するための仕組みづくりや検証の仕組みが求められることと思慮。
- このようなお客様対応をベースにサービス提供のあり方を検討することで、一般のお客様に対するサービス品質の向上に繋がる示唆が得られる。



## ソシオエステティックガイドライン（ガイドライン）の位置づけ

- エステティック業においては、業界の健全な発展を目指すための「エステティック統一自主基準」が存在する。
- ガイドラインは、「エステティック統一自主基準」に準拠して、ソシオエステティックサービスの内容で具体化を図る。
- 今回策定するガイドラインを踏まえて、将来的には統一自主基準の改定を目指す。
- 将来的には、その他の対象向けにも、ガイドラインとしての具体化を期待する。



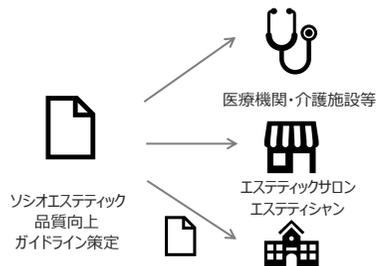
## (参考) ガイドラインを遵守する仕組みの構築

- 今年度取りまとめたガイドラインの内容を踏まえて、次年度以降はガイドラインを遵守する仕組みを構築する。
- ガイドラインを定着化させて、業界全体のサービス品質の向上と、悪質な業者が淘汰されることを目指す。

### 今年度の取組



ソシオエステティック  
品質向上  
ガイドライン策定



ガイドラインの周知

### 次年度以降に考えられる取組（仮）

#### 遵守する仕組みの構築

- 新たな認証制度の構築
- 認証を受けたエステティシヤンのリストの公開

#### エステティシヤンの養成

- 新認定試験制度への組み込み
- 講習の実施
- 認定校における認知度向上

#### 情報発信

- 関連する業界との連携による、ソシオエステティックの認知度向上に向けた取組
- 医療施設・介護施設等の仲介者や、担い手であるエステティシヤンに対するソシオエステティックの認知度向上に向けた取組
- 消費者の認知度向上に向けた取組



- 業界全体のサービス品質の向上
- 悪質な業者の淘汰